

## 11 . 2001 年の米国貿易

2001 年における米国貿易の特徴をとりまとめている。

構成は、

- 1) 2001 年の米国貿易の概観
- 2) 国別動向
- 3) 商品別・国別動向
- 4) 付表

からなる。

付表は、

- 1) 日本だけでなくカナダ、メキシコ、中国、韓国、台湾などの国別に商品別輸出入の状況をまとめた「国別」表
- 2) 電気機器、一般機械などの主要な財ごとに品目別国別輸出入をとりまとめた「財別」表
- 3) 主要国・地域との財別貿易をまとめた「国地域別財別表」

に分かれている。

2001 年の貿易の特徴をあげると、

- 1) 輸出は 7,310 億ドルと前年比 6.5%の減少。  
輸出の減少は 2000 年の第 4 四半期から顕在化し、2001 年の第 2 四半期ではマイナス成長に転じた。同時多発テロ事件のあった 2001 年 9 月には前年同月比 17.9%の落ち込みとなった。  
輸出が落ち込んでいる財は、HS16 部の機械類・電気機器などで、HS16 部の減少は全体の 8 割弱を占めている。特に電気機器の落ち込みは大きかった。
- 2) 輸入は 1 兆 1,420 億ドル。前年比 6.2%の減少だった。が、1999 年の水準を上回っている。減少額が大きいのは輸出と同様で HS16 部であり、電気機器の落ち込みが大きかった。HS16 部による減少が全体の約 7 割弱、原油の価格低下などによる鉱物性燃料の減少が全体の約 2 割弱を占めている。
- 3) 通関収支の赤字は 91 年以来の拡大が反転し、2001 年は赤字幅が縮小した。輸出入ともに減少したが、輸入の減少額が輸出を上回ったため。対 GDP 比も 2000 年の 4.4%から 4.0%に縮小している。
- 4) 輸出額および輸入額の減少をもたらした相手国は、日本、台湾、韓国、カナダ、メキシコの 5 カ国である。  
輸出額の減少が大きい順に並べると、カナダ、メキシコ、日本、台湾、韓国。この 5 カ国で輸出額の減少分の 86.9%を占めている。  
輸入額の場合は、日本、カナダ、台湾、韓国、メキシコの順。この 5 カ国で輸入額

の減少分の 66.4%を占めている。

一方、増加した国は、輸出入ともに中国が最大である。

- 5) 主要 5 カ国による一般機械、電気機械の減少が 2001 年の特徴である。そして、各国との輸出・入構造に類似性が高いことがあげられる。一般機械、電気機器に関する米国と各国の輸出入構造の類似性を相関係数で計測すると、高い「正」の相関がある。

米国と各国の輸出入構造の相関係数

	84 類(一般機械)	85 類(電気機器)
日本	0.87	0.68
韓国	0.69	0.59
台湾	0.53	0.94
カナダ	0.79	0.83
メキシコ	0.92	0.32